

つながる清水... 静岡市清水区発! 全国で唯一の地域活性化情報誌

てんしんさんまん
天真爛漫
情報誌
じょうほうし

インセント 175号

2017年4月8日(土)・9日(日)号 200,000部発行 新聞折込

清水区、清水区由比・清水区蒲原 100,000部 / 葵区・駿河区 100,000部

総合印刷業・総合広告代理店 / 佐野印刷株式会社 ☎054(368)4461 054(368)4481
〒424-0846 静岡市清水区木の下町111 E-mail shimizu@sano-printing.jp
総合印刷業・総合広告代理店 / (株)アドウェーブSANO ☎0545(51)9000 0545(51)9020
〒417-0057 富士市瓜島町165番地 E-mail ad@sano-printing.jp
<http://www.sano-printing.jp>

●ボートライセンススクール キャンペーン実施中 詳しくはコチラ▶

スルガマリンサービス 実技講習会場 清水マリーナ 学科講習会場 折戸マリーナ

1級: 乗校4日 2級: 乗校3日で取得可能 水上バイク: 乗校2日 ☎0120-017-120



清水まぐろ橋(仮称) 開通。 JR清水駅みなと回(東口)から 徒歩4分 便利になりました。



河岸の市 鮮度よし・品揃えよし・食べてよし

まいる館
夜も営業しています

いちば館
営業時間 / 9:30~17:30



TEL.054-355-3575

かし丸くん

清水まぐろ

ブランド誕生!

清水港は冷凍マグロの水揚げ日本一
マグロと言えば「清水!!」と答えが返ってくる

写真提供 / フジ物産株式会社

NetZ ネットゾラ静岡 清水店

U-Car 大型展示場 はごろも Re-New 見れます! 乗れます! 探せます!

グランドオープン!!

オープニングイベント開催!
4/22(土)・23(日)

楽しいイベントをご用意しております!

静岡を代表する大人気のバルーンパフォーマー!!
バルーンパフォーマー★ともちゃん。
10:00~12:00
13:00~16:00

パーラーピーズづくり
10:00~17:00

往年の日本の名車トヨタ2000GTがやってくる!
10:00~16:00

人気のグルメカー大集合! 10:00~17:00

NetZ ネットゾラ静岡 清水店
tel.054-354-0010

はごろも Re-New
tel.054-355-3020

〒424-0825 静岡市清水区松原町7-13
営業時間 / 10:00~19:00
定休日 / 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)

※イラストはすべてイメージです。

世界文化遺産登録された日本一の「富士山」「三保松原」利活用した事業の推進。経済発展なくして街の発展なし。企業(大・中小規模)学校(大学・専門学校)の誘致促進を進める。

「清水マグロ」を ブランド化 マグロで清水を元気に!!

安心・安全・美味しい!三拍子の清水港の冷凍マグロ
TUNA-GO! しみずプロジェクト

日本人が大好きな魚の代表格と言えば、それは「マグロ」ではないでしょうか。この「マグロ」を使って清水を元気にしようと、今、若い人たちが立ち上がり、活動を始めました。今回のイノセントは「清水港のマグロ」に掛ける熱いパワーをお送りします。

マグロで
つながる、
港と清水



海王丸 漁業株式会社 漁撈部長
清水江尻港推進委員会 事務局長
中村誠一朗さん

を考えた時、ピンときたのはやはり「マグロ」でした。清水港で水揚げ・加工された

鮮魚ではないものの冷凍マグロの水揚げは間違いなく日本一、冷凍技術の進歩で、いつでも新鮮な状態で食べられます。そこで、清水港で揚がったマグロを「清水マグロ」としてPRして行くことになりました。

今までも官民一体となってPRをしてきましたが、その機会は年に一度の秋に開かれる「清水港マグロまつり」が唯一の場とまでいわれていました。そこで、もっと消費はどうかと考える、JAしみずサービスマチ直産プラザふれっぴー飯田店と庵原店に協力をお願いし、試食販売を行いました。

一般的に流通しているメバチマグロは台湾産が多く、チリ沖のものは普段あまり出回しません。ところが、漁場が違えば味も違います。チリ沖の魚は良い脂がのってメバチの中で絶品!お手頃な価格ともあり好評でした。

みについて紹介します。

石油製品の取り扱いから、ガソリンスタンド経営、冷凍水産物全般・加工品取り扱い、養鰻事業、太陽エネルギー事業等々、多岐に渡る事業を展開する同社ですが、「創業以来一貫してマグロ業界とは一緒に歩んできました。」と語るの代表取締役専務の山崎博之さんです。「創業60周年を迎えるにあたり、経済の停滞、人口減少に危機感を抱く清水を見た時、地元と共にある企業として何か地域貢献をしなければいけないとの使命感を抱きました。」とスタートしたのが、「TUNA-GO! しみずプロジェクト」です。「冷凍マグロ水揚げ日本一」を誇る清水港だからこそ、マグロで清水を元気にしたいという思いがこのプロジェクトの始まりでした。

「マグロのまち清水」をもっと知ってもらいたい、特に若い人にアピールして次世代へつなげて行きたい、そこで、プロジェクトのシンボルとなるものを創ることになりました。」と企画室の高橋あゆみさん。

「一見でそれと分かるビジュアル、マグロをメインにしながらも三保の松、天女の羽



フジ物産株式会社
企画室 高橋あゆみさん

る、ワクワクするようなシンボルオブジェです。普通のマグロを模した様なオブジェは全国の至る所にたくさんあります。そうではない、どこにもないオンリーワンで、みんなに親しまれるものがない、そこで静岡を拠点に活躍する屈指のアーティスト、ナガタロツさんの協力を得てデザインを作成、大阪道頓堀のつばさの「フグちゃん」で知られる株式会社ちゅうちん造形に製作を依頼、構想半年、製作期間2ヶ月を経て、昨年の「清水港マグロまつり」でデビューを飾ったのが「マグロぼんぼり つなぐ君」です。

「一見でそれと分かるビジュアル、マグロをメインにしながらも三保の松、天女の羽」



ナガタロツ氏による
マグロぼんぼり
「つなぐ君」の
デザイン

評。鉄筋をベースに造られていたため、触ることはもちろん、どなたでも乗ることが可能!「SNSで拡散して下さい」とのこと。

そして、オブジェからの次の展開は絵本を作成することです。マグロのことがわかるカラフルで楽しい絵本を幼稚園や病院(小児科等)に配布して、親子で手に取ってもらいマグロのまち清水を知ってもらいたいと思います。

これらの活動の一環として、(客船で来清された)観光客のみなさんに「マグロ水揚げ見学会」や「マイナス60度の冷蔵庫体験ツアー」などの企画、実施できればと考えています。

約400キロのある「つなぐ君」を展示場へ移動させるためクレーンの免許を所得した高橋さん、まだまだ企画中のアイデアが盛りだくさん、今後の活動に目が離せません。

イノセントから ひと言!!

これまでの「イノセント」の取材を通して清水港での冷凍マグロの水揚げ日本一は当たり前と思っていた編集部でしたが、それが清水・静岡市に意外にも知られていない、と言ったことに驚いた今回の取材でした。

そして、同時に同じように「当たり前」思っていた現場から、これを改めて活性化につなげよう、情熱を傾けている人たちがいることに感動しました。

この活動はきっと大きく動いてゆく予感がします。みなさんぜひ、清水の魅力の一つ「清水港は冷凍マグロの水揚げ日本一」を覚えていただき、「マグロと言えは?」の質問には、胸を張って、誇りを持って「清水港!」と答えて下さい。

静岡は日本一の 「マグロ王国」

「マグロと言えは?」の質問にあなたなら何と答えますか? 「三崎?」 「大間?」 「三崎?」などの地名が出てきそうですが、静岡市民なら「こは胸を張って」「清水港」と答えて欲しいところではないでしょうか。

なぜなら清水港は冷凍マグロの水揚げ日本一を誇る港だからです。それではなぜ清水港にマグロが集まるようになったのでしょうか。それは清水港の周辺で缶詰工場が発展したことが一因とされています。

以前のイノセントでも特集しましたが、静岡県の水産試験場がマグロの油漬け缶詰を開発したことを切っ掛けに、清水のメーカーが製品化、

「ツナ缶」製造は一大産業に成長しました。そこで、マグロの需要が高まったことで清水港に多くのマグロが水揚げされるようになったのです。今では日本における冷凍マグロの約半分が清水港で水揚げされています。さらに、静岡市は一世帯におけるマグロの年間購入金額・購入量を見ても全国1位という統計もあり、まさに静岡市は清水港を核とした「マグロ王国」と言っても過言でないと思えます。

清水港で揚がる 「清水マグロ」

マグロは静岡市清水区にお

いてこれだけ大きな魅力を持つにもかかわらず、全国はもろろん、意外にも地元の人たちでさえあまり知られていない、と言う残念なところがあります。そこで、改めてこれを知ってもらおうと立ち上がった人たちがいます。

清水江尻漁港に本社を構える海王丸漁業株式会社の漁撈部長の中村誠一朗さんにお話を伺いました。

「清水港の魅力をPRして頂くには、まず地元の人たちから始める必要があります。静岡市では市が面する目の前の海を「しづまえ」と称し、市内の港で揚がる魚介類を「しづまえ鮮魚」とし、静岡市の食文化の情報発信と水産業を初めとする地域の活性化のため積極的にPRして頂いています。

そこで、しづまえ振興協議会清水部会では清水港の特徴

「マグロぼんぼり つなぐ君」



フジ物産株式会社
代表取締役専務 山崎博之さん

目指したのは見てみたくない、衣、清水港などのイメージを詰め込んだ派手なデザイン



笑顔いっぱい「TUNA-GO!しみずプロジェクト」

当情報誌は唯一地域の活性化を目的に発行。スポンサー様の御協力によりご家庭にお届けしております。オール静岡(清水区・葵区・駿河区)に配布